

## ◆三ツ又沼ビオトープのあれこれ

みんなで自然をより良くする  
 管理を行いました!



この夏、北アメリカ原産のアレチウリなど、外国から連れてきてしまった植物がふえて、地域にもともと生えていた植物をおおってしまうという問題が起きていました。夏から秋にかけて、一生けんめい刈り取りました。



夏休みに、親子で、アメリカザリガニをたくさんつかまえました。アメリカザリガニがたくさんいると、水辺の動物も植物もいなくなってしまう。つかまえたアメリカザリガニは、外へにがさずおうちで育てることを約束してお持ち帰りいただきました。

### スズメバチも大事な仲間

今年も、三ツ又沼ビオトープではスズメバチの巣が見つかりました。三ツ又沼ビオトープでは、スズメバチも大切な住人です。スズメバチは、特定の生きものが増えすぎるのをおさえる、大切な役割をしています。ですので、ここでは巣を見つけても基本的に取りのぞきません。環境サポーター等がパトロールし、巣を見つくとロープで囲い、私たちが巣に近づきすぎて刺されないようにしています。



みなさんのご協力をお待ちしています!

三ツ又沼ビオトープでは、たくさんの方々に協力いただき、荒川の自然をより良くする管理を行っています。これからの季節は、春先に背の低い野草にたくさん日の光が当たるように、枯れたヨシを取りのぞく作業が始まります。みなさんのご協力をお待ちしています!

## ◆荒川ハンノキプロジェクト



埼玉県ちょうの蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

環境サポーターによる  
 出前講座を行いました!



(出丸小学校)

5年生と6年生に分かれて、この季節に荒川の自然で見られる生きものや、この季節に行った自然をより良くする活動の様子、また実りの秋を感じてもらうためにどんぐりぶえなどを紹介しました。



(太平中学校)

プロジェクトに参加する科学部のみなさんに、三ツ又沼ビオトープで見られる虫「カマキリが自然の中ではたす役割」についてお話しをしました。このほか、ブラックバスや外国のカブトムシなど「外国から連れてこられた動物が引き起こす自然破壊」などについてもふれました。



### 三ツ又沼ビオトープとは?

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所。ここでは、荒川の自然が大好きな人たちと国土交通省が一緒になって、自然をより良くする作業や荒川の自然って大切だね!って人々に伝える活動を行っています。三ツ又沼ビオトープでは、いつでも、どなたでも自然に親しむことができます。

※環境サポーター：あらかわ市民環境サポーターの略。荒川の自然が大好きで、特に三ツ又沼ビオトープの自然をより良くするために作業をしたり、自然学習のお手伝いをする市民のみなさんです。登録は荒川上流河川事務所にて行っています。